

3. 『パスポート事業』 全国展開の活用法 ～今後の展望～

(1) 地方創生としての、パス事業活用

- 全国展開ゆえに、他自治体との競争に拍車
(協賛店舗数の全国ランキング等)
- パス事業は、顧客としての子育て支援だが、
協賛企業は、社内でも子育てフレンドリー
- 子育て先進県としてのブランド力(顧客および社員の子育て応援している企業が多い地域)で
『各種ターン』が加速化

(2) パスポート事業全国展開の意義

- **意義** 全国共通展開で一律なサービス
事業者の『選別』が進む
 - 商品サービスに自信のある事業者 「全国に売れる！」
 - 普通の事業者 「全国の子育て世帯に対応するのは大変だ」
- **アフリカに到着した営業パーソンの2タイプ**
 - 優秀な営業パーソン 「誰も靴を履いていないから売りがいがある！」
 - ダメな営業パーソン 「誰も靴を履いていないから、売れるわけがない」
- **全国に販路を拡大する好機！**

子育て家庭の『ロコミカ』

- 鬼太郎ロードにある『下駄屋』さん
鬼太郎子供下駄が拙宅には10セット
 - 加齢に応じた買い替え
 - 「二本歯」と「一本歯」(体幹の鍛錬)
 - 鼻緒の色とイラストのカスタマイズが可能

全国
通販
を
開始



(3) パスポート事業全国展開の意義

● 意義 地域特性を活かした商品・サービス

事業者の『知恵』勝負

- 例:ご当地スナック(地域毎にカスタマイズした限定商品のセット販売)の食べ比べ需要の掘り起こし

自治体の『知恵』勝負

ご当地商品を全国に宣伝する役割

例:神奈川なでしこブランド



(4) パスポート事業全国展開の意義

- **意義** **転勤族が地域デビューする接点に**
 - 例: 地域に伝わる『子育てに関する風習』をレクチャーする地元商店
 - 例: 子育て家庭向けの地域版イエローページ(電話帳)として機能する
- **意義** **地域ニーズに即したカスタマイズ**
 - 住民支援のプラットフォームとしてのパスポート事業
 - パスポートの**適用対象**を広げる
 - 例: 大家族支援、結婚支援、高齢者支援等

(5) 今後も、**騎馬戦型**を維持するには

高齢世代と現役世代の比率変化：**胴上げ 騎馬戦 肩車**

(65歳以上)

(20～64歳)

現在：ほぼ「**騎馬戦型**」



高齢者1人を支える人数
2.6人

50年後：「**肩車型**」



高齢者1人を支える人数
1人



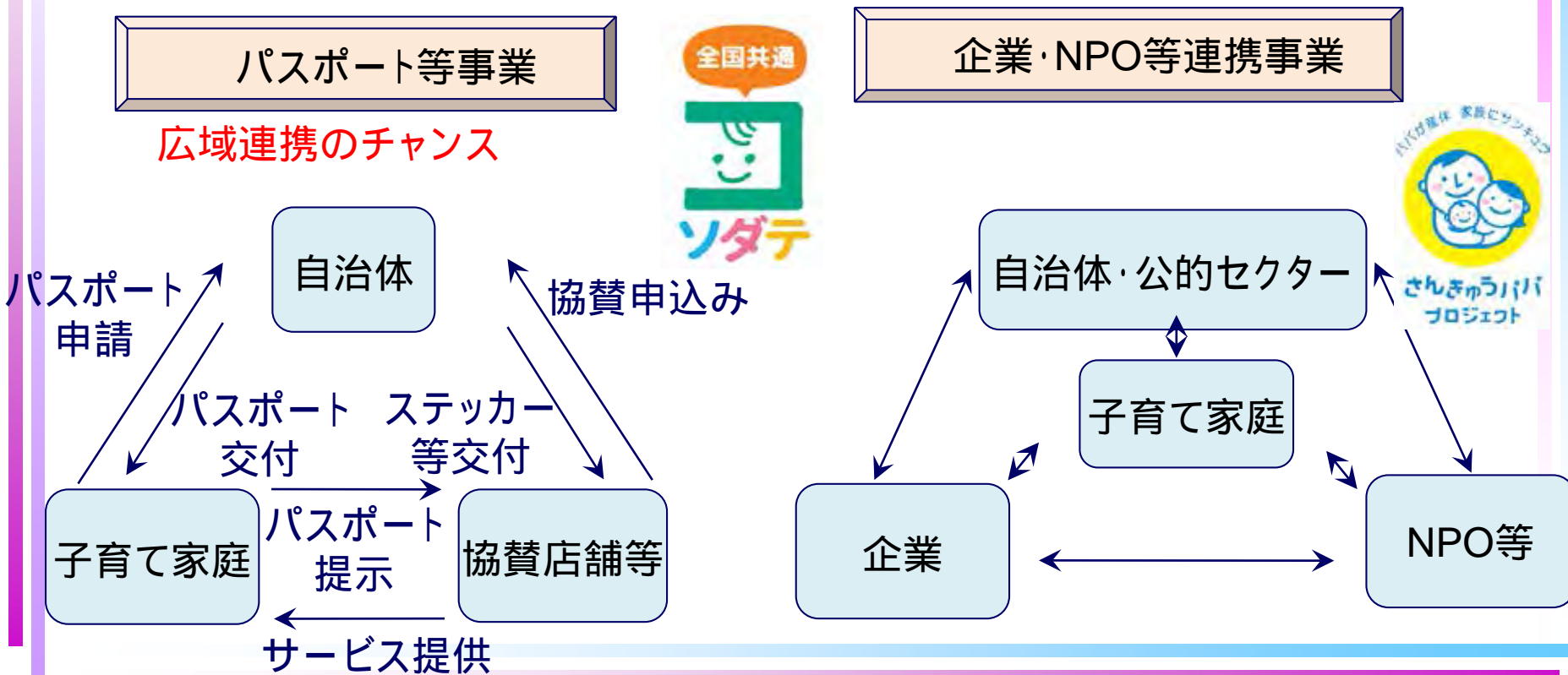
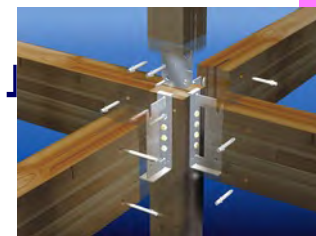
職縁(企業)
地縁(NPO)

元気な高齢者は、支える側にまわる
子どもたちを増やす
納税者を増やす(女性活躍・高齢者活躍)
共助(職縁・地縁) > 自助 > 公助

パスポート事業は、
『共助』のシンボル

(6) 今後の展望 ~ 自治体・企業・NPOによる 「子育て支援連携事業」

- かがいとしての『子ども』 = 強烈な「連結力」
- 子どもは、未来の納税者、消費者、労働者



(7) ライフステージに応じた暮らしやすい、 魅力のある地域

- 親世代、子世代の晩婚・晩産化の結果、**今後は多重ケア**(ダブルケアを含む)**が普通に**・・・
- 中長期・超長期(子ども世代の成人後まで視野に入れた)**ライフプランを描く必要がある**

親世代の晩婚 介護開始が前倒しに
子世代の晩婚 育児開始が遅れがち

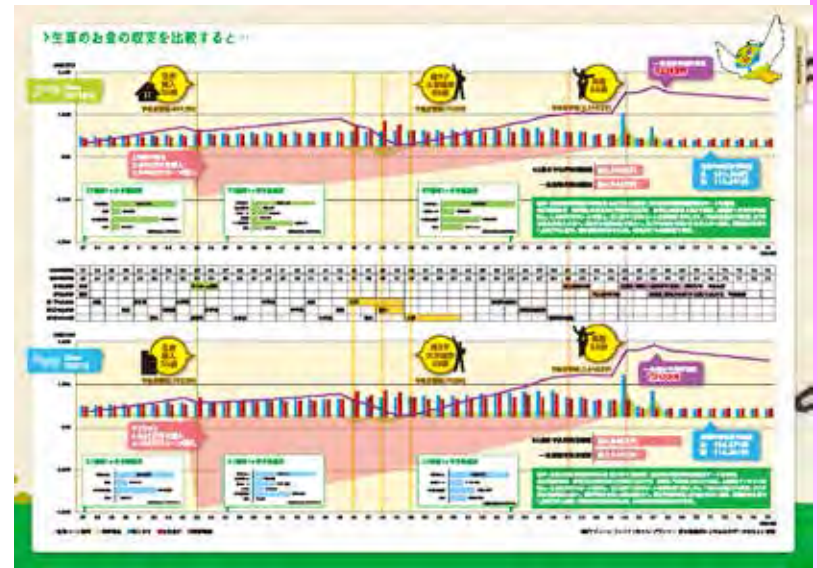


(8) VS東京の長期ライフプラン

鳥取県 (2015.4)

東京と比較した生涯収支データなど高校に配布

20代独身の平均月給は東京が約4万～6万円上回っているが、家賃の平均月額は鳥取が3万円以上安く、結婚や出産費用も数十万円抑えられるという。



福井県 (2015.11)

大学卒業後に働き、家庭を築いた場合の福井と東京の家計を比較する「ふくい暮らしライフデザイン設計書」。

結婚し2人の子を持つ世帯を比べると、60歳までの**収支差(黒字額)**は福井県が東京より約3千万円多いと試算。共働きで収入が安定している上に、住宅や教育費が安いのが主な要因。

福井と東京の家計収支比較

福井 (女性28歳、男性30歳で結婚) 東京 (女性30歳、男性32歳で結婚)

期間	収入	支出	収支差	収入	支出	収支差
結婚前	2,510	2,010	500	4,070	3,110	960
結婚・子育て 未子小学校	15,260	13,500	1,760	16,440	16,270	170
子育て 未子中学・高校	7,410	6,320	1,090	7,650	7,320	330
未子大学以降	9,350	8,060	1,290	6,990	6,800	190
合計	34,530	29,890	4,640	35,150	33,500	1,650

※いずれも結婚2年後に第1子、4年後に第2子誕生。単位は万円

福井と東京60歳までの収支比較 福井県が家計黒字3000万多く

(9) 基本的な考え方: 足し算から『掛け算』へ

人口動態	基本的な考え方	子育て支援関係者
人口 ボーナス 期 現役世代 > 高齢者世代	バラバラに 足し算	自治体、行政、NPOが $5 + 5 + 5 = 15$
人口 オーナス 期 現役世代 < 高齢者世代	連携して 掛け算	自治体、行政、NPOの掛け算 市民が、生活者 & 生産者の助 言者 & 就労者 $3 \times 3 \times 3 = 27$

「掛け算は無限」
知恵の連鎖反応が起こる

ご清聴いただき、ありがとうございました。渥美

Naoki_Atsumi@tbr.toray.co.jp

2011年『イクメンで行こう!』日本経済新聞出版社

2012年『ムダとり時間術』日本経済新聞出版社

2015年『長いものに巻かれるな!』文藝春秋社

